

◇投票区再編を巡る背景と目的

1. 当日投票者の減少

人口減少により有権者数は年々減っていくことや、投票者の多くが当日よりも期日前に投票する傾向となっていることで、今後もさらに当日投票所を利用する方が少なくなる見込みです。

⇒再編によって当日投票所 1 カ所あたりの投票者を増やし、効率化したい

2. 投票管理者、投票立会人の高齢化、なり手不足

投票管理者、投票立会人のなり手が少ない状況が続いています。また、多くの方が高齢でありながら期日前、当日投票所へ複数回の対応をお願いしなければならないため、負担が増えております。

⇒再編によって必要となる投票管理者、立会人の数を減らしたい

3. 投票所の環境

現在の投票所の一部、比較的小規模な施設では土足での利用、冷暖房、駐車場の完備、玄関のバリアフリー未対応など、設備が十分ではないため改善が求められています。

⇒再編によって設備の整った投票所へ統合させたい

4. 選挙執行経費の上昇

財政運営が厳しさを増す中で、選挙費は近年の物価高・人件費の上昇の影響を受けており、今後も困難な状況が続くものと見込まれるため、より効率的な選挙の執行が課題となっています。

⇒再編によって選挙費用を抑えたい

◇再編の対象と方法

1. 投票区の有権者数、当日投票者数の拡大

有権者数 500 人未満の投票区を隣接する投票区と統合させます。

投票区あたりの当日投票者数を少なくとも 100 人以上となるよう調整します。

2. 地域、地区の枠組みの継続

地域・地区を越える投票区の再編、統合はしません。

◇統合により廃止される投票区への投票支援策

1. 移動期日前投票所の設置

廃止される投票区（投票所）へ移動期日前投票所を開設します。

※事前に設置の可否や場所について地元町内会等と協議させていただきます。

<目安>一カ所につき 30 分－1 時間の開設。1 日につき 4－5 カ所。



2. オンデマンド投票支援車の運行

当日投票者用に事前予約制（オンデマンド）で「投票バス（ワゴン車等）」を運行します。

運行は自宅、もしくは自宅近くの集合地点と投票所の間の往復です。

※ただし利用条件を設ける予定です。